

やべえ なにやってんだよ!

第2回 メールをよこす前には必ずテストしろ!

今回は計算機の「基本中の基本」であるケーブルの巻き方であったが、今回はインターネットの「基本中の基本」である電子メールの設定について、つい最近初心者になったばかりの読者諸兄に、少々ご説明をしたい。

設定したら必ず確認!

本誌インターネットマガジンでは、電子メールで読者諸兄の意見を拝聴させていただいている。そういったなかで、「これは!」と思うメールには、やはりお返事のメールを書きたくなる。しかし、せっかくメールを書いても、「Unknown User」などのエラーで戻ってきてしまうことがよくある。

インターネットに接続しているということは、電子メールがやりとりできることであると言っても過言ではない。電子メールをやりとりするためには、自分の電子メールソフトウェアの設定をしなければならない。とはいえ、設定は難しいものではなく、自分のメールアドレスやPOPサーバー^①、SMTPサーバー^②など、プロバイダーから指定された項目を入力するだけだ。しかし、人間が手で入力したものと誤りが多いものはない。正しい設定になっているかどうかを必ず確認するような習慣を付けるべきだ。ひととおり設定ができたなら、さっそく誰かに送ってみたくるのが人情だが、ここでお茶でも飲みながら落ち着いて、もう一度入力した項目を確認しよう。

プロバイダーやBBSを利用しているなら、自分のメールアドレスは「`username@po. .or.jp`」となっているはずだが、何を勘違いをしたのか、いつの間にかや一般企業を表す「`co.jp`」となってしまうお便りを受け取ることが少なくない。この「`co`」ドメイン^③のメールアドレスに返信しても、とうぜんエラーで戻ってきてしまう。このような無駄を未然に防ぐために、面倒でも必ずプロバイダーから送られてきた資料を見て確実に入力することが大切だ。これは説明するまでもなく基本だ。そして設定が終わったら必ずテストする。これも基本だ。ではテストの仕方を教えよう。

自分宛に投げてテスト

確認する場合に他人に迷惑をかけないようにするために、自分のアドレスに向かってテストメールを出してみよう。自分のアドレスは、

脚注

- ① POPサーバー：自分宛てに送られてきたメールが保留されているサーバー。
- ② SMTPサーバー：メールを送るときに使用するサーバー。
- ③ ドメイン：ネットワークを区別するために付けられる名称。「`impress.co.jp`」のように「`.`」で区切られた階層構造になっている。
- ④ サブドメイン：ドメインの中でさらに細かくネットワークを区別するために付けられる名称。
- ⑤ MIME：メールの拡張機能。バイナリデータや複数のファイルを簡単にやりとりするためのフォーマット。

「`username@po. .or.jp`」や「`username@st. .or.jp`」など、プロバイダーのサブドメイン^④になっている場合もある。注意すべき点は、すべての文字は必ず半角でなければならないということだ。

ネットスケープナビゲーターは日本語が文字化けする

設定が完璧でも、本文が文字化けしてはもともこもない。相手が日本人である場合がほとんどであろうから、いきなり日本語のメールを出しても全く問題ないが、計算機で日本語を扱う場合には、漢字コードが問題になる。日本語メールの事実上の標準漢字コードは、いわゆる「JIS漢字」である。普段使っているパソコンから電子メールをSMTPサーバーに送る場合には、「シフトJIS」からJIS漢字に変換しなければならない。

この変換は日本語が扱えるメールソフトウェアなら自動的に行ってくれるが、日本語が扱えそうで実は正しくない変換をしてしまうソフトウェアもある。「ネットスケープナビゲーター2.0ベータ版」だ。受けとったメールの中から「`http://`」などを探しだし、直接ジャンプできる機能を備えていて便利だが、メールを出すとちょっと困ったことが起こる。まず、MIME^⑤変換がおかしいし、誤った漢字コード変換をしてしまう場合があるのだ。いまのところ、ネットスケープナビゲーター2.0ベータ版でメールを送るのはやめたほうがよい。でないとメールをもらったほうはたまったものではないし、余計なメールのやりとりをすればそれだけネットワークのトラフィックも増えてしまう。

きちっとテストしてから聞きに来い!

ネットスケープナビゲーター2.0ベータ版以外のソフトウェアでもこのようなトラブルがないとは言えない。そして、そのようなトラブルは前述したようなきちんとした設定の確認とテストをしてさえいれば、未然に防ぐことができる。くれぐれも、つまらない設定ミスで管理者だけでなく相手の手をわずらわすことのないように。

設定したら必ず確認!
本誌インターネットマガジンでは、電子メールで読者諸兄の意見を拝聴させていただいている。そういったなかで、「これは!」と思うメールには、やはりお返事のメールを書きたくなる。しかし、せっかくメールを書いても、「Unknown User」などのエラーで戻ってきてしまうことがよくある。

インターネットに接続しているということは、電子メールがやりとりできることであると言っても過言ではない。電子メールをやりとりするためには、自分の電子メールソフトウェアの設定をしなければならない。とはいえ、設定は難しいものではなく、自分のメールアドレスやPOPサーバー^①、SMTPサーバー^②など、プロバイダーから指定された項目を入力するだけだ。しかし、人間が手で入力したものと誤りが多いものはない。正しい設定になっているかどうかを必ず確認するような習慣を付けるべきだ。ひととおり設定ができたなら、さっそく誰かに送ってみたくのが人情だが、ここでお茶でも飲みながら落ち着いて、もう一度入力した項目を確認しよう。

プロバイダーやBBSを利用しているなら、自分のメールアドレスは「`username@po. .or.jp`」となっているはずだが、何を勘違いをしたのか、いつの間にかや一般企業を表す「`co.jp`」となってしまうお便りを受け取ることが少なくない。この「`co`」ドメイン^③のメールアドレスに返信しても、とうぜんエラーで戻ってきてしまう。このような無駄を未然に防ぐために、面倒でも必ずプロバイダーから送られてきた資料を見て確実に入力することが大切だ。これは説明するまでもなく基本だ。そして設定が終わったら必ずテストする。これも基本だ。ではテストの仕方を教えよう。

自分宛に投げてテスト
確認する場合に他人に迷惑をかけないようにするために、自分のアドレスに向かってテストメールを出してみよう。自分のアドレスは、

たあつ!
こんなメールをよこすんじゃない!



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp